

『釈放された後の人生』

多久市立東原摩舎東部校 7年 野田 祐真

皆さんは、刑務所を出て、釈放された後の人のその後を考えたことはありますか。釈放された人は、社会復帰するだろう、と、簡単に思ってしまうとおもいます。でも、実際に社会復帰できる方は少ないのです。

それは何故かという、周りの目が、どうしても厳しくなってしまうからです。一度刑務所に入ったことがあるだけで、この人は、犯罪を犯してしまうような悪い人、という、固定がいねんが生まれてしまうからです。それにより、近づかないでおこう、関わらないでおこう、という考えになってしまい、孤立してしまいます。

その人のことを、全く知らないのに、自分の頭の中で勝手にどういう人物かを決めてしまいます。もしかしたら、その人は罪を犯したことを、凄く悔いているのかもしれないし、冤罪の可能性もある。そのもしかしたらを考えず、与えられた少しの情報で、判断してしまうのは、自分にとっても、悪いことばかりです。

実際に社会復帰できた方も、何度も心が折れそうになったそうです。

罪を犯した方は、もちろん悪いです。でも、自分から、相手のことを知ろうとせず、決めつけてしまう方も悪いです。自分がしてほしくないことは人にもしない、というのは、この場合でもあてはまると思います。勝手に自分のことを決めつけられるのは、皆さんも嫌だと思います。自分のことをきちんと理解してもらうために、相手と話をしてみようと思った時に、関わりたくないと思われていたら、会話が成立しません。だから、勝手に決めつけ、関わりたくない、と、思わず、自分で、情報を集めてから判断すると、刑務所を出た方々も、楽しく、人生を

過ごすことができると思います。

今の私達は、そんな、刑務所を出た方と、会うことはありません。でも、身近でも、同じようなことが考えられると思います。例えば、顔などの見た目で判断してしまう場合がよくあると思います。生まれつき、目がつり目で、顔が怖いと思われる人もいるはずです。性格は、やさしいのに見た目から、誰も近寄ってこない、話しかけてもらえない、という人もいます。容姿だけで判断してしまうのはおかしいと思います。その人も、自分が選んで生まれてきたわけではないのですから、見た目はどうしようもありません。なのに、理解してもらえず、誤解されたまま、というのは、自分だったら、とても悲しいことです。

そのように、理解されずに苦しんでいる人が世の中には沢山います。その苦しみから、自ら命を絶ってしまう人もいます。自殺は絶対にしてはいけない、いじめも絶対にだめだ、と言っている人も、自分でも知らないうちに、相手を追いこんでいる可能性があります。

どんな人でも心はあります。その心を、知らず知らずのうちに、傷つけている人ばかりの世の中だと、心が折れて、立ち直れなくなる人が増え、誰も信じられなくなります。そんな世の中より、信頼できる人が沢山いて、心から笑いあえる世の中のほうが何倍もいいです。

社会へ復帰したくても、できない、という人が世の中から減っていくと、社会は明るくなっていくと思います。時間はかかってでも、そんな世の中になっていくと、信用される人になったり、信用できる人と出会ったりして、楽しく過ごせるようになります。血も涙も無い人なんて、いません。心はきちんとあるのですから、心ない言葉や態度のせいで隠れて泣いている人がいたら、話を聞くだけでもいいので、話しかけて下さい。話を聞いてもらえるだけで、心が軽くなって立ち直ることができるかもしれません。ただ、もしかしたら自分も人を傷つけるような

態度をとっているかもしれない、ということを考えて行動すると、良い世の中になっていきます。最初は一人でも、どんどん増えていくと、社会が明るくなり、人生を楽しんで過ごすことができます。メリットばかりで、悪いことはありません。刑務所から出た方も、明るい社会だったら、改心すると思います。刑務所を出た人だからって、悪い人ばかりだとは、限らない、ということのを頭の隅に置いていと自分が信頼され、良いことが起こるかもしれません。自分のためだけではなく、他人のためにも、社会を明るくしていければ、と私は思います。